

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-194	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
089・友社	音Ⅱ・704	ON! 2		

1. 編修の基本方針

教育基本法および学校教育法の趣旨に則りながら、現代的な教育課題に対応し、学問の自由を尊重した個性豊かな教科書となるよう、次の3点を基本方針として本書の編修にあたりました。

(1) 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わること

・幅広いジャンルの音楽から選曲するとともに、多様な視点から音楽や音楽文化を深く捉えることができるように、内容を工夫しています。

(2) 確かな学力を育成すること

・学習課題を明確化し、参考資料を豊富に用意することにより、生徒自らが音楽的な見方・考え方を働かせ、見通しをもって学習を深めることができるようにしています。

(3) 音楽のもつ教材としての力を最大限に引き出すこと

・音楽の特徴や内在する教材性を精選するとともに、一つの音楽を多角的に捉えたり、多様な音楽の共通性や固有性を理解したりできるよう、構成を工夫しています。

2. 対照表

(対照表のうち、「教」は教育基本法第二条を、「学」は学校教育法第五十一条を示すものとします)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全般	・人類の財産である豊かな内容を備えた音楽を選択・配置することにより、豊かな感性や情操、人間性を養うことができるようにしました。(「教」第一号、「学」第一号)	
	・全体を領域・分野に準じた四つのブロックに分けて構成しながら、相互の関連を明示することにより、個人の価値を尊重し、個性に応じた学習活動が展開されるようにしました。(「教」第二号、「学」第二号)	p.10-17／p.19-53／ p.55-75／p.80-84
ONGAKU[音楽]を ふかめよう	・各ブロックの学習で共通に生きて働く内容を精選して示すことにより、主体的、自律的に学習を深めることができるようにしました。(「教」第二号、「学」第二号)	p.6-9

歌おう	・幅広い時代の曲, 様々な国・地域, ジャンルの曲から選択・配列することにより, 多様な価値に心を開き, 自他の敬愛を重んずる態度を養うことができるようにしました。(「教」第一号, 第三号, 「学」第二号) ・それぞれの学習活動に必要な最低限の知識を各ページで説明したり, 参照ページを明示したりすることによって, 個に応じた深い学びが実現するようになりました。(「教」第二号, 「学」第二号) ・日本や郷土の音楽から, 自然や生活との関わりの深いものを選曲し, 生命の尊さに気づき, 自然や環境を大切にする心を養うとともに, 自らが音楽文化の担い手であるとの意識を高めることができました。(「教」第四号, 第五号, 「学」第一号)	p.10-17／p.19-52 p.17／p.18／p.21／p.33 ／p.37／p.43-45／p.49 p.34-35／p.42-44
合わせよう	・歌唱の教材には, 輪唱の曲から混声四部合唱曲, ボイス・アンサンブルまで, 様々な演奏形態の曲を選択・配列して, 楽しみながら幅広い知識と教養が身に付くようにしました。(「教」第一号, 「学」第一号) ・器楽の教材には, 耳なじみのある曲や親しみやすい学習活動などを積極的に選択・配列するとともに, 芸術性に富む作品を含めて, 生徒の実態に即した深い学びが実現するようになりました。(「教」第二号, 「学」第二号) ・各種の楽器の学習に必要な知識や技能をまとめて示すことによって, 個に応じた深い学びが実現するようになりました。(「教」第二号, 「学」第二号)	p.53-65 p.66-75／p.78-84 p.71／p.76／p.77／p.84 ／p.121-122
知ろう, 楽しもう	・音楽の聴き方, 音楽の社会的な役割などに対する見方・考え方の多様な例を示すとともに, 生活や社会との関連について思考・判断を促す問いを示しました。(「教」第二号, 第三号, 「学」第三号) ・日本の伝統文化については, 楽器や舞台の様子などの視覚的な情報をふんだんに盛り込み, 様式相互の共通性や固有性が理解しやすくなるようにしました。(「教」第五号, 「学」第三号) ・西洋音楽については, 多様なジャンルの楽曲を選択・配列するとともに, 関連する情報やコラムなどを盛り込み, 幅広い知識と教養が身に付くようにしました。(「教」第一号, 「学」第一号)	p.85-87／p.107-109 p.90-94 p.95-105
つくろう	・音楽を創作するための過程を丁寧に紐解きながら, 参考となる既存の曲と関連づけるとともに, Challengeのコーナーでポイントを示すことによって, 個性の確立に向けた創造活動が展開されるようにしました。(「教」第一号, 「学」第三号) ・自分で探してきた詩や自然の音など, 多様な素材を取り上げることで, 自然や環境, 生活や文化に目を向けるきっかけとしました。(「教」第四号, 「学」第二号)	p.110-114 p.110-111／p.114

	・楽典や楽式に関する内容をまとめて示すことにより、生徒の実態に即した自律的で個性的な学習の助けとなるようにしました。（「教」第二号，「学」第三号）	p.115-120
口絵，その他	・ベートーヴェンの《第九》やミュージカル《レント》という，生活や社会，文化との関わりなど広い観点からとらえるのに適した音楽を取り上げ，学習意欲を鼓舞するようなカラー写真を，3ページにわたって配置しました。（「教」第三号，「学」第三号） ・日本と西洋の音楽史に関する資料を豊富に盛り込むことによって，音楽を広い視野から俯瞰的に，かつ多面的に理解することができるようにしました。（「教」第一号，第三号，「学」第三号）	おもて表紙裏-p.2 p.88-89／p.106／p.123-うら表紙裏

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・教科書としての格調を保ちながら，生徒が親しみを覚えて楽しく学習できるように，見やすく，わかりやすいページづくりを心がけました。
- ・小学校，中学校，音楽Ⅰでの学習を深めることができるように，題材や教材の選択に配慮しました。
- ・環境にやさしい紙および植物インキを使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-194	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
089・友社	音Ⅱ・704	ON! 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領に示された音楽Ⅱの事項をバランスよく取り扱うとともに、三つの柱で再整理された「育成を目指す資質・能力」の着実な定着、そして豊かな人間性や価値観の形成を目指し、次の各点に意を注いで本書を編修しました。

(1) 全体の構成

- ・「ONGAKU[音楽]をふかめよう」を位置づけ、その学習と、領域・分野に準じた四つのブロックでの学習とが、往還的に深められるようにしました。
- ・音楽を形づくっている要素、詩と音楽などの観点から、音楽的な思考・判断を深める道筋を示しました。

(2) 多様な教材

- ・生徒に親しまれている歌、日本や世界で歌い継がれてきた歌に加えて、音楽表現の共通性や固有性をとらえやすい音楽など、計40曲を様々な形態で配当しました。
- ・少人数のアンサンブルにも、履修クラス単位の合奏にも適用できる教材編曲に工夫をこらしました。

(3) 学習内容の明確化

- ・教材曲の各ページに、コラムや参考情報などのコーナーを設けて、学習のポイントを明示しました。
- ・音や音楽、音楽文化などについて多角的な思考と個性豊かな表現を促すよう、きめ細かな記述を心掛けました。

(4) 豊富な関連資料

- ・学習意欲を喚起する写真や他教科等の学習内容、生活や社会、文化・歴史と関連する内容などについて資料をふんだんに盛り込み、生徒の興味・関心に沿って学習活動が展開されるようにしました。

2. 対照表→別表

対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容																								内容の取扱い（括弧付き数字は「音楽Ⅰ」の3の（2）から（11）と対応している）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			A 表現															B 鑑賞						〔共通事項〕																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			(1) 歌唱						(2) 器楽						(3) 創作						(1) 鑑賞							(1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			ア	イ			ウ			ア	イ			ウ			ア	イ	ウ			ア			イ			ア	イ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)		(ウ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			創 意 工 夫 す る こ と。	歌 唱 表 現 に 関 わ る 知 識 や 技 能 を 得 た り 生 か し た り し な が ら、 個 性 豊 か に 歌 唱 表 現	生 み 出 さ れ る 表 現 上 の 効 果	曲 想 と 音 楽 の 構 造 や 歌 詞、 文 化 的・ 歴 史 的 背 景 と の 関 わ り 及 び そ の 関 わ り に よ っ て 生 み 出 さ れ る 表	言 葉 の 特 性 と 曲 種 に 応 じ た 発 声 と の 関 わ り 及 び そ の 関 わ り に よ っ て 生 み 出 さ れ る 表	様 々 な 表 現 形 態 に よ る 歌 唱 表 現 の 固 有 性 や 多 様 性		曲 に ふ さ わ し い 発 声、 言 葉 の 発 音、 身 体 の 使 い 方 な ど の 技 能	他 者 と の 調 和 を 意 識 し て 歌 う 技 能	表 現 形 態 の 特 徴 や 表 現 上 の 効 果 を 生 か し て 歌 う 技 能		創 意 工 夫 す る こ と。	器 楽 表 現 に 関 わ る 知 識 や 技 能 を 得 た り 生 か し た り し な が ら、 個 性 豊 か に 器 楽 表 現	さ れ る 表 現 上 の 効 果	曲 想 と 音 楽 の 構 造 や 文 化 的・ 歴 史 的 背 景 と の 関 わ り 及 び そ の 関 わ り に よ っ て 生 み 出	効 果	曲 想 と 楽 器 の 音 色 や 奏 法 と の 関 わ り 及 び そ の 関 わ り に よ っ て 生 み 出 さ れ る 表 現 上 の	様 々 な 表 現 形 態 に よ る 器 楽 表 現 の 固 有 性 や 多 様 性		曲 に ふ さ わ し い 奏 法、 身 体 の 使 い 方 な ど の 技 能	他 者 と の 調 和 を 意 識 し て 演 奏 す る 技 能	表 現 形 態 の 特 徴 や 表 現 上 の 効 果 を 生 か し て 演 奏 す る 技 能		創 意 工 夫 す る こ と。	創 作 表 現 に 関 わ る 知 識 や 技 能 を 得 た り 生 か し た り し な が ら、 個 性 豊 か に 創 作 表 現	音 素 材、 音 を 連 ね た り 重 ね た り し た と き の 響 き、 音 階 や 音 型 な ど の 特 徴 及 び 構 成 上 の 特 徴 に つ い て、 表 し た い イ メ ー ジ と 関 わ ら せ て 理 解 を 深 め る こ と。	反 復、 変 化、 対 照 な ど の 手 法 を 活 用 し て 音 楽 を つ く る 技 能	旋 律 を つ く つ た り、 つ く つ た 旋 律 に 副 次 的 な 旋 律 や 和 音 な ど を 付 け た 音 楽 を つ く つ た り す る 技 能	音 楽 を 形 づ く つ て い る 要 素 の 働 き を 変 化 さ せ、 変 奏 や 編 曲 を す る 技 能	曲 や 演 奏 に 対 す る 評 価 と そ の 根 拠	自 分 や 社 会 に と つ て の 音 楽 の 意 味 や 価 値	音 楽 表 現 の 共 通 性 や 固 有 性	曲 想 や 表 現 上 の 効 果 と 音 楽 の 構 造 と の 関 わ り	音 楽 の 特 徴 と 文 化 的・ 歴 史 的 背 景、 他 の 芸 術 と の 関 わ り	我 が 国 や 郷 土 の 伝 統 音 楽 の 種 類 と そ れ ぞ れ の 特 徴	音 楽 を 形 づ く つ て い る 要 素 及 び 音 楽 に 関 す る 用 語 や 記 号 な ど に つ い て、 音 楽 に お け る 働 き と 関 わ ら せ て 理 解 す る こ と。	音 楽 を 形 づ く つ て い る 要 素 や 要 素 同 士 の 関 連 を 知 覚 し、 そ れ ら の 働 き を 感 受 し な が ら、 知 覚 し た こ と と 感 受 し た こ と と の 関 わ り に つ い て 考 え る こ と。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ブロック	題材名、教材名等	該当箇所 (ページ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
口絵	《第9》の魅力を探る	表表紙裏																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									</

对照表

[illegible]

対照表

合わせよう	喜びの歌	60-61	◎	○		◎		◎													◎	◎	
	Ave verum corpus	62-63	◎		○	◎		◎													◎	○	
	うたを うたう とき	64-65	◎		○	◎		◎													◎	○	
	On The Beat!	66							◎		◎			◎							◎	○	
	Don't Mind	67							◎		◎			◎							◎	○	
	Agnus Dei	68							◎		◎			◎							◎	○	
	Haste Thee Nymph	69							◎	◎			○		◎						◎	○	
	Shalom Chaverim	69							◎			◎			◎						◎	◎	
	島人ぬ宝	70-71							◎		○	◎	○		◎						◎	◎	
	海に見える街	72-73							◎		◎		◎	○							◎	◎	
	イバネマの娘	74-75							◎		◎		◎								◎	◎	
	ピアノで伴奏しよう	77							○		○		○			◎	◎		◎		◎	○	
	鉄腕アトム in Jazz	78-79							◎			◎		○	◎						◎	○	
	スーパーカリフラジリス ティックエクスピアリドー シャス	80							◎		◎			◎							◎	◎	
	笑点のテーマ	81							◎			◎			◎						◎	○	
	八木節パラフレーズ	82-83							◎			◎			◎						◎	○	
	中国地方の子守歌	84							◎		◎		◎								◎	○	
知ろう、 楽しもう	音楽から世界を眺める	85-87															◎		◎	○	◎	◎	(9)
	日本音楽の流れ	88-89															○			○	◎	◎	(9)
	能「船弁慶」	90																◎		○	◎	◎	(9)
	謡と囃子	91																◎		○	◎	◎	(9)
	義太夫節「艷容女舞 衣」から「酒屋の段」	92																◎		○	◎	◎	(9)
	文楽を見てみよう	93																◎			◎	◎	(9)
	筑前琵琶「那須与市」	94															◎				◎	◎	(9)
	鳥の歌	95															◎			◎		◎	(9)
	王宮の花火の音楽	96															◎			◎		◎	
	マタイ受難曲 BWV244	97															◎			◎		○	
	クラリネット協奏曲 イ長調 KV622	98															◎			◎		◎	
	交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付き」	99															○	◎		○	◎	◎	
	ピアノ五重奏曲 イ長調 D.667「ます」	100															◎		○	◎		◎	
	オペラ「カルメン」	101															◎			○	◎	◎	
	ヴァイオリン協奏曲 二 長調 作品35	102															◎			◎		◎	
	「映像」第1集	103															◎			◎	○	◎	
	交響詩「ローマの松」	104															◎			◎	○	◎	
	涅槃交響曲	105															◎			◎		◎	
	映像と音・音楽	107-108															◎			○	◎	◎	
	映像作品に音・音楽を つけてみよう	109														◎	◎	◎				◎	

対照表

つくろう	歌をつくろう	110-111													◎	◎		◎								◎	◎		
	一つのメロディーをもと に大きな曲をつくろう	112-113													◎	◎	◎									◎	◎		
	Make Your Own Music	114													◎	◎		◎								◎	◎	(7)	
	楽曲の形式のいろいろ	115													◎	◎	◎	○								◎	◎		
	楽典	116-120													◎	◎		○	◎							◎	◎		
年表	作曲家年表	106																			○				◎	○	○	◎	
	音楽史年表	123- 裏表紙裏																			○				◎	◎	○	◎	
コード表・ 運指表	キーボード・コード表	76							○		◎		○													○	◎		
	ギター・コード表	121-122							○		◎		○													○	◎		
	リコーダー運指表	122							○		◎		○													○	◎		
コラム	基礎的な発音のポイント	18	○			◎			◎																	○	○		
	音楽を聴いて感じたこ とを自分の言葉で書い てみよう	21																		◎				◎			◎	○	(8)
	著作権	109																			◎				◎				(11)